

《出品目録》再見！東洋美術 ― 館藏品と東京藝術大学所蔵の中国石仏による ―

作品名	制作年代	員数・形質	法量(cm)	備考	所蔵先
1. 故松原三郎名誉教授 (1918～1999)の業績					
ぶつざぞう によらいざぞう 2. 仏坐像(如来坐像)	北魏 (5世紀後半)	1軀 砂岩	高20.6		東京藝術大学大学美術館
しめんぞう とうぞう 3. 四面像(塔像)	北周 (6世紀後半)	1基 石灰岩	高38.0		東京藝術大学大学美術館
ごそんひぞう 4. 五尊碑像	唐 (7世紀後半)	1基 泥灰岩	高44.6		東京藝術大学大学美術館
びくぞう たくほん 5. 比丘像(拓本)	東魏 (6世紀前半)	1面 拓本・額装	像高80.8	天龍山石窟第3窟 正壁(北壁)右側	
によらいぞうとうぶ 6. 如来像頭部	インド・クシャーナ朝 (3世紀)	1個 片岩	高18.9	ガンダーラ出土	
ぼさつぞうとうぶ 7. 菩薩像頭部	3～5世紀頃	1個 ストゥック・彩色	高9.5	ハッダ出土	
によらいぞうとうぶ 8. 如来像頭部	3～5世紀頃	1個 ストゥック・彩色	高11.4	ハッダ出土	
によらいぞうとうぶ 9. 如来像頭部	3～5世紀頃	1個 ストゥック・彩色	高9.4	ハッダ出土	
ぼさつぞうとうぶ 10. 菩薩像頭部	北齊 (6世紀後半)	1個 白大理石	高8.9		
ようたいがんでんぞうぞうき たくほん 11. 揚大眼造像記(拓本)	北魏 (500年頃)	1幅 拓本・軸装	92.4×39.8	龍門石窟古陽洞北壁	
ほっかいおうげんしやうぞうぞうき たくほん 12. 北海王元詳造像記(拓本)	北魏・太和22年(498) 9月23日	1幅 拓本・軸装	74.5×41.0	龍門石窟古陽洞北壁	
こうじゆかいやくとくぞうぞうき たくほん 13. 高樹解侶都等造像記(拓本)	北魏・景明3年(502) 5月30日	1幅 拓本・軸装	40.4×26.9	龍門石窟古陽洞北壁	
とうだいじだいにぶつれんべんせんこくが たくほん 14. 東大寺大仏蓮弁線刻画(拓本)	奈良時代 (8世紀中頃)	1幅 拓本・軸装	137.8×67.3		
かさいぶじんよう 15. 加彩武人俑	唐 (7世紀)	1軀 俑	高34.4		
かさいぶんかんよう 16. 加彩文官俑	北魏 (6世紀)	1軀 俑	高23.8		
かさいじよしよう 17. 加彩女子俑	前漢 (前2世紀～後1世紀)	1軀 俑	高66.2		
がぞうせん 18. 画像磚	後漢 (2～3世紀)	1面 磚	22.6×29.2×4.2		
くじゃくもんせん 19. 孔雀文磚	後漢 (2世紀)	1面 磚	9.0×21.8×1.2		
こうきくず がぞうせん たくほん 20. 耕作図 画像磚(拓本)	後漢 (1～3世紀)	1面 拓本・額装	24.2×39.5	四川省出土	
ちゆうぼうず がぞうせん たくほん 21. 厨房図 画像磚(拓本)	後漢 (1～3世紀)	1面 拓本・額装	26.5×44.0	四川省出土	
ぶがくざつぎず がぞうせん たくほん 22. 舞楽雜伎図 画像磚(拓本)	後漢 (1～3世紀)	1面 拓本・額装	39.3×45.0	四川省出土	
しゅつこうず がぞうせん たくほん 23. 出行図 画像磚(拓本)	後漢 (1～3世紀)	1面 拓本・額装	28.5×48.5	四川省出土	

※所蔵先の記載のない作品はすべて実践女子大学香雪記念資料館所蔵です。※拓本作品の法量は拓本部分の寸法です。